

ライティング問題-総評-

第53回WEBライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第53回WEBライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用方法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 筋トレについて240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：体力 キーワード2：ストレス解消

【解答例1】

「次に、考えられるのは、ストレス解消や、シェイプアップを主眼とした筋トレです。」

上記解答例は、読点が正しく使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例1】

「次に考えられるのは、ストレス解消や、シェイプアップを主眼とした筋トレです。」

上記修正例では、文意を鑑みて読点を1つ削除いたしました。読点が正しく使われていない文章は読者へ読み難さを与えてしまいますので注意が必要です。

【解答例2】

「体力に衰えを感じたり、もしくはダイエットを考えている方」

上記解答例では、一文の中に並列を表現する「～たり」が1度のみしか使用されていません。

【修正例2】

「体力に衰えを**感じた方**、もしくはダイエットを考えている方」

上記修正例では、文意を鑑みて「～たり」を削除し、助詞の数も整えて自然な形で修正いたしました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 3】

「他のスポーツで好成績を出すために必要な筋肉を**鍛ていらしゃる方**も**いらしゃいます**。」

上記解答例は、「鍛ていらしゃる」「いらしゃいます」が誤入力となります。

【修正例 3】

「他のスポーツで好成績を出すために必要な筋肉を**鍛えている方**も**いらっしゃいます**。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「鍛えている」「いらっしゃいます」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤入力が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「**私は**週に 3 日は筋トレをしています。その目的はいくつかありますが、主な目的は健康や体力の維持、そしてストレス解消です。」

上記解答例は「私は～」という主観的な表現がみられます。このような主観的な表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

【解答例 5】

「筋トレと聞くと、つらいイメージ**がある**かもしれませんが、同じ趣味を持った方同士、気軽に始めること**が**出来るのでオススメです。」

上記解答例は、一文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例 5】

「筋トレと聞くと、つらいイメージ**がある**かもしれませんが、同じ趣味を持った方同士、気軽に**始められる**のでオススメです。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

問2 高速バスについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード1：格安 キーワード2：深夜

【解答例 1】

「高速バスのメリットは、①格安である②使い方によりドアツードアの交通手段となる③ゆったりと気軽に乗ることが出来る④深夜の便を上手に使うと時間が節約できるなどが挙げられます。」

上記解答例は、箇条書きとなってしまっております。

箇条書きでの記載は、見た目はスッキリしていますが、文章としては内容が薄くなってしまいがちです。そのため、クラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くあります。

そして試験でも大きな減点対象となってしまいますので、箇条書きではなくしっかりと文章を作成するよう心がけましょう。

【解答例 2】

「昼間、運航されている高速バスも有りますが、長距離を走行する深夜に走る高速バスもあります。」

上記解答例では1つの文章中に「有ります」「あります」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 2】

「昼間、運航されている高速バスもあります、長距離を走行する深夜に走る高速バスもあります。」

上記修正例では、「あります」に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 3】

「格安という魅力に勝るものはなく今でも多くの方が利用されています。深夜の高速バスから街の夜景などを楽しむ事もできます。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 3】

「格安という魅力に勝るものはなく今でも多くの方が利用されています。また、深夜の高速バスから街の夜景などを楽しむ事もできます。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 4】

「そしてその高速バスの中でもさらに格安な移動手段と言えるのが深夜高速バスです。」

上記解答例は、読点が正しく使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例 4】

「そして、その高速バスの中でもさらに格安な移動手段と言えるのが深夜高速バスです。」

上記修正例では、文意を鑑みて読点を1つ挿入いたしました。読点が正しく使われていない文章は読者へ読み難さを与えてしまいますので注意が必要です。

【解答例 5】

「新幹線、飛行機は移動時間は短くなるが往復の料金は高い。」

上記解答例は、一文に助詞である「は」が多用された文章です。

【修正例 5】

「新幹線、飛行機は移動時間が短くなるが往復の料金は高い。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

問3 電卓について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：計算 キーワード2：スマホ

【解答例 1】

「電卓の種類によって、使い心地にかなり違いがあります。友達と食事に行った時、割り勘にする為使用する電卓はスマホのアプリで十分でしょう。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されておられません。

【修正例 1】

「電卓の種類によって、使い心地にかなり違いがあります。例えば友達と食事に行った時、割り勘にする為使用する電卓はスマホのアプリで十分でしょう。」

上記修正例では、接続詞「例えば」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 2】

「その他、買い物で役立つそうなのが、お肉・野菜などを100グラムあたりどれが安い計算出来る、電卓アプリもあります。」

上記解答例では、表現のねじれが見受けられ、違和感があります。

【修正例 2】

「その他、買い物で役立つそうなのが、お肉・野菜などを100グラムあたりどれが安い計算出来る、電卓アプリです。」

上記修正例では、この文章における主語部分である「買い物で役立つそうなの」に正しく係るよう、文意を鑑みて文末表現を整え、自然な形で修正いたしました。文中に表現のねじれが生じてしまうと、読者に違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例 3】

「簡単な計算であれば行うことができます。」

「電卓がなくともスマホがあれば、用も足りる様になってくるでしょう。」

上記解答例では1つの文章中に「あれば」「有れば」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 3】

「電卓がなくともスマホがあれば、用も足りる様になってくるでしょう。」

上記修正例では、「あれば」に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「現代においてこの必需品を所持している人はあまりいないのではないのでしょうか。」

上記解答例では、「いないのではないのでしょうか」が誤変換となります。

【修正例 4】

「現代においてこの必需品を所持している人はあまりいないのではないのでしょうか。」

上記修正例では、誤変換を修正しました。「いないのではないのでしょうか」が正しい表現となります。特にWEBライティングでは誤字脱字、誤入力が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「ご家庭やちょっとした計算をしたいならスマホの電卓アプリで事足ります。」

上記解答例では、並列の表現に違和感があります。

【修正例 5】

「ご家庭でちょっとした計算をしたいならスマホの電卓アプリで事足ります。」

上記修正例では、環境・状況を表す「ご家庭」と動作を表す「ちょっとした計算」が、並列の助詞である「や」を挟んで記載されております。そのため、助詞を変更することで並列ではない自然な形になるよう修正いたしました。並列や比較の表現では、その対象が同列のものでないと読者に違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

問 4. スマホでできることについて 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「スマホが取って代わったデバイスとしては、パソコン、電卓、音楽プレイヤー、録音機、カメラ、手紙、本、地図、手帳、ゲームプレイヤーなど枚挙にいとまがないくらい挙げることがができます。」

上記解答例は、例示する情報が多すぎる文となっております。また一文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例 1】

「スマホが取って代わったデバイスとしては、パソコン、電卓、音楽プレイヤー、カメラなど枚挙にいとまがないくらい挙げられます。」

上記修正例では、文意を鑑みて繰り返しの表現を削除し、また助詞の数を整えて自然な形に修正いたしました。例示情報は読者にも役立つ情報にはなりますが、あまり多すぎると読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

また今回のような表現の場合、試験において指定文字数を満たすための文字稼ぎと取られて減点対象になりかねませんので、出来る限りシンプルな表現を心がけましょう。

【解答例 2】

「また、写真も撮る事が出来ます。その画像はデジカメに負けません。スマホはいつでも持ち歩くものなので、シャッターチャンスを見逃しません。アプリを使用すると更に便利になります。」

上記解答例は、短い文が連続した表現となっております。

【修正例 2】

「また、写真も撮る事が出来て、その画像はデジカメに負けません。スマホはいつでも持ち歩くものなので、シャッターチャンス逃しませんし、アプリを使用すると更に便利になります。」

上記修正例では文意を鑑みながら、4つの短文を2文にまとめる形で修正いたしました。

短文での表現は、文章に勢いを付ける意味では有効ですが、主語が抜けた表現などとなり口語（話し言葉）に近い表現となってしまいます。また、このような表現は試験では減点対象となってしまいますので、短文表現はあまり使わないように注意しましょう。

【解答例 3】

「デジタルカメラの代わり使用する方が多いです。」

上記解答例は、助詞が不足しているため文意が伝わり難い文章となっております。

【修正例 3】

「デジタルカメラの代わりに使用する方が多いです。」

上記修正例では、文意を鑑みながら助詞「に」を自然な形で追記修正しました。このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「万一紛失した時のために、バックアップを取ったり、セキュリティの管理を万全にしておく必要があります。」

上記解答例では、一文の中に並列を表現する「～たり」が1度のみしか使用されていません。

【修正例 4】

「万一紛失した時のために、バックアップを取ったり、セキュリティの管理を万全にしたりする必要があります。」

上記修正例では、「～たり」を2回使用し、また文意を鑑みながら自然な形に修正しました。

特にWEBライティングでは誤字脱字が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

他にも出来ることはたくさんあります。

- ・お気に入りの音楽を聴く
- ・いつでもすぐに開いて写真を撮る
- ・外出時に地図・ナビゲーションとして使う
- ・空いた時間に動画を見る
- ・スケジュール管理をする

- ・ニュースを見る
- ・天気を確認する
- ・アプリを使って勉強をする

上記解答例は、箇条書きとなってしまっております。

箇条書きでの記載は、見た目はスッキリしていますが、文章としては内容が薄くなってしまいがちです。そのため、クラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くあります。

そして試験でも大きな減点対象となってしまいますので、箇条書きではなくしっかりと文章を作成するよう心がけましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、**助詞の連続使用や使い方**、**表記ゆれ**、**読点の使い方**、**箇条書き**、**誤字脱字**や**誤変換**などが多く見受けられました。

そして、主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。

他にも一文に情報を詰め込み過ぎしまうと、**助詞の連続使用**など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。